


自閉症・発達障害者の就労支援に関する事業

平成19年度

# チャレンジ☆ハタラク 報告集

NPO 法人 シンフォニーネット

**TEAM**  (チーム フォルテッシモ)

平成20年 3月



平成19年度下関市民活動補助金交付事業

## チャレンジ☆ハタラク 報告集 目次

活動報告 (日程) . . . . .	2
フォルテッシモ便り 8 / 28 . . . . .	3
10 / 16 . . . . .	4
11 / 27 . . . . .	5
公開シンポジウム開催要項 . . . . .	6
公開シンポジウム 感想 しものせき未来人ネットワーク 岡本かなえさん . . . . .	7
公開シンポジウム アンケート集計 . . . . .	11
事業の成果 . . . . .	19

日時	活動内容	活動場所
7/5	スタッフ会議 活動計画について	しものせき市民活動センター
7/10	なごみの里 施設長と面談	なごみの里
7/20	ミキサー会 (企業名刺交換会)	シーモールパレス
8/16	リベルタス興産 パンフレット 打ち合わせ	リベルタス興産(宇部市)
8/28	チャレンジ☆ハタラク 第1回懇談会	しものせき市民活動センター
9/20	山口銀行 CS 部長と面談 理事長	山銀本店
9/28	第1回下関地区就労支援ネットワーク構築事業実行委員会	カラトピア
10/16	第2回下関地区就労支援ネットワーク構築事業講演会	カラトピア
11/14	山口県障害者職業センター 見学	障害者職業センター
11/27	チャレンジ☆ハタラク 第2回懇談会	しものせき市民活動センター
12/13	江島下関市長へ就労啓発パンフ配布のお知らせ及び記者クラブ発表	市役所
1/15	社会福祉法人むそうのビデオ上映会 ほのぼのくらぶ	こども発達センター
1/15	第3回下関地区就労支援ネットワーク構築事業実行委員会	しものせき市民活動センター
1/18	平成19年度中国・四国地区知的障害者就労支援ネットワーク	山口県保健会館
1/19	平成19年度中国・四国知的障害者職業自立啓発セミナー	山口県保健会館
1/21	社会福祉法人むそうのビデオ上映会 ママねっと	西部公民館
1/28	下関養護学校 PTA 講演会 講師 生活・就労支援 むそうビデオ上映会	下関養護学校
2/5	スタッフ会議 チャレンジ☆ハタラク公開シンポジウムについて	事務所
2/19	公開シンポジウム 資料作成	しものせき市民活動センター
2/20	資料作成	しものせき市民活動センター
2/21	公開シンポジウム 準備	事務所
2/24	チャレンジ☆ハタラク 公開シンポジウム	海峡メッセ下関 国際会議場
2/25	第4回下関地区就労支援ネットワーク構築事業実行委員会	東京第一ホテル下関
2/29	(社)光栄会主催 障害のある方の就労・地域生活研修会	宇部市文化会館
3/13	山口県主催 セミナー「企業とNPOの社会的責任と協働」	ルルサス防府
3/19	北九州地域障害者就労啓発セミナー～雇用支援者養成セミナー	小倉

# NPO 法人シンフォニーネット設立1周年記念公開シンポジウム

## チャレンジ☆ハタラク

～障害者の就労と生活の支援の最新を知る～

強い福祉現場をめざしてスキルアップをするために

### 開催要綱

1. 目的 NPO 法人シンフォニーネットも設立1周年を向かえました。新規事業として取り組んでおります、就労・生活支援の1年間のまとめとして公開シンポジウムを開催する事となりました。障害者を取り巻く世界ではこの数年間の間に、支援費制度から障害者自立支援法となり、今また見直し案も出ております。国の政策はコロコロと変化しますが、基本としては問われているのは「障害者本人の自立」と「揺るがない強い福祉現場」だと思っております。記念講演の講師である「社会福祉法人むそう」の戸枝陽基さんは「必要な時に、必要なサービスを!」を理念として地域支援活動に取り組まれております。「障害を抱えていてもいきいきと働き、地域の中で自立した生活を営みたい」と言う家族の思いを実現した時、その事業形態は障害者自立支援法下のビジネスモデルとなり全国から注目の的となりました。  
本シンポジウムでは、「社会福祉法人むそう」の取り組みをうかがい、後半のパネルディスカッションでは、北九州障害者しごとサポートセンター所長比舗進さんをコーディネーターに、障害者が作るものにもクオリティーの高さを求め優良製品を販売している「社会福祉法人南風荘」セルブ岡の辻の施設長、益原忠郁さんに宇部市障害者就労ネットワークのことを、宇部興産特例子会社のリベルタス興産社長、有田信二郎さんからは「障害者の本社雇用」に繋がっている宇部興産グループの雇用ネットワークについてのお話をうかがいます。これからの障害者の就労と生活の支援はどうあるべきか。決して進んではない下関市の現状を多くの方々と考え共に歩むきっかけとなる事が本事業の目的です。
2. 対象 保護者や家族を始め、学校、企業、障害者施設職員、ガイドヘルパーやホームヘルパーなど福祉サービス事業所、一般市民
3. 主催 NPO 法人 下関市自閉症・発達障害者支援センター シンフォニーネット
4. 共催 なごみの里通勤寮 山口県発達障害者支援センター
5. 後援 山口県 下関市 下関市教育委員会 下関商工会議所 下関商工会議所青年部 社団法人下関青年会議所 下関市社会福祉協議会 朝日新聞社 毎日新聞社 読売新聞西部本社 中国新聞防長本社 山口新聞社 NHK 山口放送局 YAB 山口朝日放送 TYS テレビ山口 KRY 山口放送 (順不同・申請中含む)

6. 開催日・会場 平成20年2月24日(日)14:00～17:00 (受付13:30～)  
海峡メッセ下関 10階 国際会議場

7. 参加経費 資料代として1000円

8. 問合せ先 NPO法人シンフォニーネット 岸田あすか  
〒750-0004 下関市中之町6-3第2松栄ビル3F  
TEL/FAX 0832-23-5360  
E-MAIL shimo07aut04sympho@ybb.ne.jp  
岸田携帯 090-3635-4910 kissy1@ezweb.ne.jp

## 感想

しものせき未来人ネットワーク  
岡本 かなえさんより

2月24日、雪のちらつく悪天候の中  
海峡メッセ下関 国際会議場10Fに160名もの参加者が  
集まりました。  
社会福祉法人むそう理事長 戸枝陽基さんから  
～夢をかたちに～「むそう」の取り組みについてお話を聞きました。



「障害は全ての人に関わること  
年齢を重ねていくうちに、誰もが障害を持つ可能性がある  
障害は特別ではない。障害者が普通の暮らしができる街という  
のは、全ての市民にとって暮らしやすい街になる。  
福祉の仕事とは全ての人と、街の可能性を引き出す素晴らしい  
仕事である・・・」

住みよさってなんだろう？  
より便利になることも大切ですが  
出来ないことが普通にできるようになることは  
元気な時は忘れがちですが  
みんなに関係のあることで、みんなを取り組みべきことだと感じました。  
今まで障害者は、入所施設で24時間生活していました。  
生活の質から見た場合、全て一か所で済まされることに不自然さを感じます。  
生活支援センターでは、くらし（グループホームなど）日中活

動（働く、デイサービスなど）余暇（移動支援など）と地域の中で、いわゆる「普通の人と同じように」ヘルパーの力を借りて生活しています。

今まで、知らなかったが故にしょうがないとされてきたことに戸枝さんは、様々な工夫で、大きな可能性を示してくれました。物を握ることしかできない女性の話です。彼女は雑貨屋さんを開いています。お店でバーコードの機械を握っています。お客さんが買い物をする時、ヘルパーさんがお客さんに、彼女の持っている機械に商品のバーコードを当てるようお願いします。お客さんが買って来て「ピー」というと彼女はニヤリと笑います。戸枝さんは彼女のことを「何もできない才能」といいます。何もできないということは、その人から何も裁かれない安心感があるのです。そんな、ただいるだけの彼女の笑顔が見たくて会いに来る人、何かを感じ、涙ぐむ人・・・彼女は立派に客を引いている！その才能を眠らせてはもったいない。そんな戸枝さんのお話に吸い込まれました。訓練することで、少しずつできることが増えてくるそうです。そんな有能な方達がずっと施設で眠っているなんて・・・。その才能を開花させるには多くのヘルパーさんが必要になります。まだまだお元気な退職された方たち、ニートの若者・・・これは本当に街を元気にする可能性を秘めていると感じました。

後半は、パネリスト

リベルタス興産社長 有田信二郎さん

社会福祉法人南風荘セルプ岡の辻施設長

益原忠郁さん 戸枝さん

コーディネーター 北九州障害者しごとサポートセンター所長 比舗 進さんによるパネルディスカッションでした。



宇部市や北九州市の隣町での発表を聴き  
下関って・・・？とはじめて興味を持ちました。

思えば、今まで障害者と接したことはほとんどありません。  
学校にもいませんでした。  
知らないから、障害者が働くということが想像できないんです。  
企業の方も同じだそうです。  
しかし、働きたい人と、働いて欲しい人は現実にいる。  
お互いがいい関係を作っていくために、様々なノウハウが必要  
ではありますが、まずお互いを知ること、これが何より大切だ  
と感じました。

戸枝さんから、実際に障害者が働いているビデオを見せてもら  
いました。  
ラーメン屋、喫茶店、養鶏場、ケアハウス、夏祭りでの出店・・・  
最後に「障害のある方の笑顔がまちをふわりと包み込む」と書  
かれていました。

なんなんでしょう？ビデオを見てとってもあたたかい気持ち  
になりました。

「ああ、こういう暮らしいいなあ」と思ったのは  
障害のある方が頑張っているという感動とは明らかに違う・・・  
自分に何かあってもきっと大丈夫だという安心感なのだろう  
と思います。

障害者が普通に暮らせる街づくりとは

他人事ではなく、自分のための取り組みなんですね。

ビデオで流れていた戸枝さん作詞作曲、ご自身で歌われていた曲の歌詞です

「広げようイメージを…とびきり素敵なイメージを  
あなたのこのまちのとびきりなイメージを  
信じてみよう 未来を あなたの このまちの」

シンフォニーネットのみなさまありがとうございました。  
これからも頑張ってください。

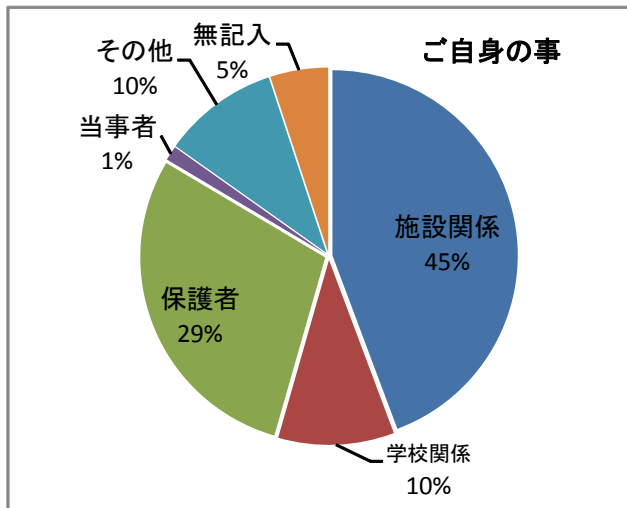


イラスト提供 ふわふわ。り

## 公開シンポジウム アンケート 集計結果

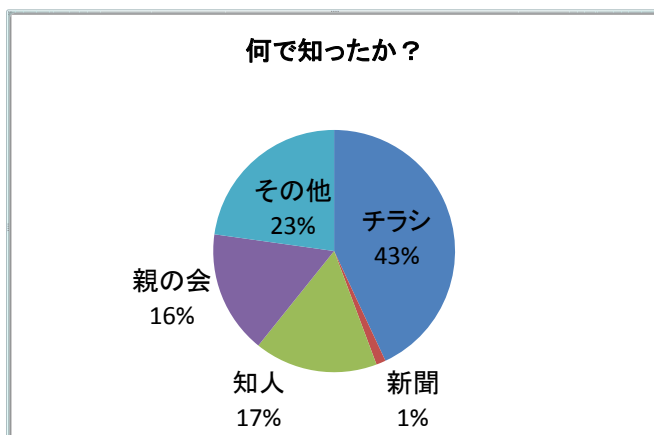
### Q. ご自身のことをお聞かせください。(5択)

施設関係	35	その他	みらい人	2
学校関係	8		兄弟	1
保護者	23		商社	1
当事者	1		清掃業	1
その他	8		親が学校関係	1
無記入	4		家族	1
	79		シンフォニー	1
			関心があった	1
			市議	1



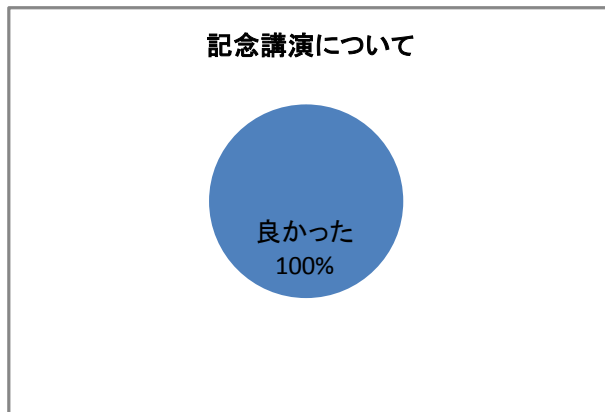
### Q. このシンポジウムをどこで知りましたか?(5択)

チラシ	34	その他	学校から	2
新聞	1		NPO	1
知人	13		施設から	2
親の会	13		シンフォニー	1
その他	18		親から	3
	79		職場	2
			社協	1
			ママネット	1
			HP	1



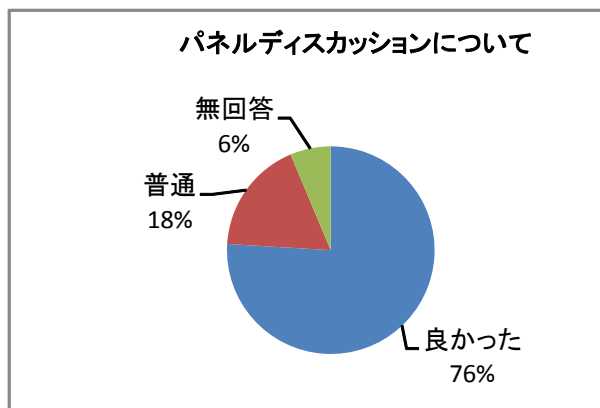
Q. 内容はいかがでしたか?(良い・普通・悪い)

良かった 79



Q. パネルディスカッションについて(良い・普通・悪い)

良かった 60  
普通 14  
無回答 5



## 事業の成果

NPO 法人 シンフォニーネット  
担当 岸田あすか

障害者の就労について今まで下関では関心のある親、当事者、学校の先生、そして心ある事業主というピンポイントの支援しかなかった。

障害者自立支援法の施行(2007・4)や企業の社会的信頼度(GSR)という部分でも障害者の雇用は注目されているが、下関市ではその兆しは全く見えていなかった。

「市内企業に障害者の雇用に関心を持ってもらう。知ってもらう。」という目的ではじめた「チャレンジ☆ハタラク」の事業だが、活動を進めていくごとに手ごたえを感じた。

「啓発パンフレット」も市民文化課さんのご支援で「江島市長へのご案内・配布のお願い」と「記者クラブでの発表」までできた。

しものせき未来人ネットワークさんの中間支援にもたいへん勇気付けられた。

企業と一般市民を交えての懇談会も回を重ねる毎に参加者も増え、公開シンポジウムでは参加者のアンケートで「良かった」が100%という快挙を成し遂げられた。

障害者の雇用に関心が無くても大変刺激的で面白い内容になっていたと思う。

7月からの事業全体に250名ほどの参加者があり、マスコミで取り上げられたりと「動くことで風は起こせた」と感じる。

一方で障害を持つ我が子の社会的自立をイメージできずにいる保護者も多い。

「ハタラク」ということは企業への就労のみならず、福祉的就労でも、家事手伝いであっても当事者がその能力を最善に活かし生き生きと仕事ができる場所を保障するということであると受け止めている。

今後、保護者や家族への啓発の場も必要とともに、下関市内の障害者就労に関する更なるネットワークの構築に尽力したい。



平成19年度 **Team ff** (チーム フォルテッシモ)事業報告集

発行 NPO 法人 シンフォニーネット

理事長 矢野 一磨

住 所 〒750-0004 下関市中之町6-3 第2松栄ビル3F

TEL/FAX 083-223-5360 090-3635-4910

E-MAIL shimo07aut04sympho@ybb.ne.jp

U R L <http://sympho.jp/>